

仏母会・花会式

令和8年5月8日(金) 午前11時～ 摩耶夫人堂にて



摩耶山の《仏母会・花会式》は、お釈迦さまの誕生を祝い、生母摩耶夫人を讃える法会です。摩耶夫人尊のおん前に、日本一大きい(総高1m)といわれている誕生仏(甘茶仏)をおまつりしています。甘茶を受ける盥(たらい)も特大です。



灌仏 ―ご参拝の皆さまにも甘茶を手向けていただきます―

＊甘茶＊

「仏の産湯」ともいう。(あまちゃのき)または(あまちゃづる)でこしらえた煎じ汁。誕生仏に甘茶をそそぐのは、お釈迦さまが誕生された時に、八大竜王が甘露(不死)の雨を降らせて産湯にしたという故事によります

一むかしなつかしい

「甘茶のお接待」がありますー

◆ 摩耶山天上寺の仏母会・花会式 ◆

《仏母会・花会式》は、摩耶山天上寺で執り行われている全国に唯一一つの仏生会(灌仏会・花まつり)です。(旧暦卯月八日の法会なので、今日では毎年一カ月遅れの五月八日に奉修しています)

天上寺には摩耶夫人(お釈迦さまの生母)をご本尊とする日本唯一の摩耶夫人堂があります。ご本尊の摩耶夫人は女性を守護する女身仏で、特に女性の一大事である子授け・安産(腹帯)・子育ての守り仏として信仰されてきました。そのために、当寺は安産腹帯発祥の寺といわれ、毎日、子授け・安産祈願・安産腹帯の授与・子供たちの安全と息災成長を願うご祈祷を受けに多くの女性がお参りされています

以上のような由来から、当山では仏母である摩耶夫人とお子である誕生仏(お釈迦さまが誕生された時のお姿)とをあわせておまつりします。そしてお釈迦さまの誕生をお祝いし、母である摩耶夫人(仏母)の功德を讃えます。お参りされた方々は、この会式の法味(仏法の妙味)をうけて、いのちの尊さを感じ、仏母とお釈迦さまの慈悲と智慧の恩徳をいただき、あわせて子授けや安産や子供の安全と健全な発育をお祈りします。この法会を古来《仏母会・花会式》(仏母の方に少し重きをおき「仏母会」といっています)

(令和八年四月)